



ふなばし 国際交流協会ニュース

<第35号>

2007年3月23日発行



1月28日開催された国際交流ニューイヤーパーティーで台湾の獅子舞 2ページに関連記事があります

目で見る世界の国

第11回

バングラデシュ人民共和国



ダッカの摩天楼



ラルバグ・フォート
1678年にムガル王朝
ムハammad・アズム王子
によって建築された砦の跡



サイト・ゴンブズ・モスク
5世紀初頭から半ばに築かれた



バングラデシュの位置



ひとこと紹介

この国は1947年に東パキスタンとしてパキスタンに帰属して独立。1971年にパキスタンより離れてバングラデシュとして完全独立した。首都はダッカである。バングラデシュの大半はヒマラヤに水源を持つ河川により作られたデルタ地帯で、低地である。住民はベンガル人がほとんど。公用語はベンガル語であるが、役所や高等教育機関では英語も許容されている。

熱帯性気候であり、夏季にはモンスーンが襲来し、洪水の被害を被ることが多い。2004年6月には国土の60%が洪水に覆われた。日本の4割の国土に1億3800万人が住み、過密である。人口の約62%は農業に従事している。豊かでないが、「穏健・民主的なイスラム国」である。

広報委員 小柳

ミニ情報

国名	: バングラデシュ人民共和国
面積	: 14.4万km ² (日本の4割)
人口	: 1億3,810万 (2003年)
	: ベンガル人が大部分
首都	: ダッカ
公用語	: ベンガル語 (国語)
宗教	: イスラム教 (89.7%)
	: ヒンズー教 (9.2%)
	: 仏教 (0.3%) (2001年)
通貨	: 1タカ (100タカ=1.4\$)
	: (06年4月3日現在)

台湾の正月を楽しんだニューイヤーパーティー

当協会主催のニューイヤーパーティーが1月28日に宮本公民館で行われた。今年は台湾出身の渡辺淑静さん、朱桂英さんらが中心になり、彼女らの指導の下、40数名のボランティアが昨年暮れ、試作会をし、当日は10数種類の台湾料理を次々と仕上げ、美しく盛り付けた。美味で大変な評判であった。また東京中華学校の生徒による獅子舞、横濱中華学院女子高生による台湾原住民踊りなど新



年らしい出し物でとても華やかなものであった。生徒たちが「初めての校外公演で楽しかった」「自分たちの学校にはじめなどがない」と自慢する姿を見て、日本の子どもたちは？と考えさせられた。

司会をはじめ、台湾の人たちが自発的に計画し、日本人がサポートするという新しいスタイルがとても新鮮なパーティーであった。

広報委員 田嶋



日本が協力した台湾新幹線、いよいよGO!

2007年1月5日に開通した、台湾新幹線を見学して来ました。3月1日から5日間、船橋市民大学健康II科(18年3月卒)のクラス会22名で台湾縦断の旅行中、3月3日に左營駅(高雄市)と台北駅を見学しました。見学に同行してくれた添乗員の話では、時速300km/hで左營～台北間345kmを約1時間半で結び、運賃は約5,500円とのことでした。

新幹線の運転業務は現在、フランス人40名、ドイツ人13名が従事し、台湾人は1年半の運転指導を得て、徐々に交代するとのことでした。工事費は4,800億元(日本円約1兆7,800億円)で、日本の新幹線「のぞみ号」と同型の12輛編成でした。

広報委員 中谷



台湾新幹線の建設現場で結ばれた日台友好の実

2001年の春、新幹線建設のため次男は台湾へ飛び立った。はなむけの言葉に「国際結婚もいいよ」と添えた。

台湾のシリコンバレー(米国の電子工業都市)と称される新竹の山間部が建設現場。宝山という名のトンネルを4本掘った。着任当時は最年少の日本人技術者で、最初に手がけたトンネルの貫通式では最後の穴を開ける機械操作役を与えられた。多国籍の人が見守る中で無事貫通できた感激を伝える



メールが留守宅に届いた。2003年のサーズ(SARS)流行時には日本での心配を物ともせず、徹底した防疫態勢で建設を続行した。

中国語が上達するにつれ、地元の人たちとの私的な交流も活発化。ついに台湾人と電撃的に裁判所で結婚を宣誓し、駆けつけた家族も日台友好ムード漂う台湾流披露宴を経験した。

当初の予定から大幅に遅れて、今春台湾高速鉄道は開業した。両国の血を受け継ぐ孫と乗車する日を楽しみにしている。



広報委員 野上

姉妹都市派遣事業へ助成

サンフランシスコ湾研修・ハイワード市訪問旅行記

サンフランシスコ湾を見学し、船橋の湾岸域を考えようという旅行が企画され、2006年11月、41名の参加を得て催行されました。



ハイワード市の大規模干潟

姉妹都市ハイワード市はサンフランシスコ湾に面した快適な湾岸域を持つ都市です。ハイワードショアラインには湾内でも貴重な大規模干潟があります。公的機関が管理し、子どもたちの教育の場としても利用されています。ハイワード市・船橋市姉妹都市委員会レイ・ツルモト氏の手配で管理者から干潟の丁寧な説明と案内を受けました。また、セツ夫人、ウェス・サカモト氏など大勢の協力で有意義な干潟見学ができました。

NPO法人 ペイ・プラン・アソシエツ 木村孝夫さん
サンフランシスコ湾岸に見る水辺と人々の触れ合いの優雅さを感じ、船橋の港を中心とした湾岸域に対しても、いろいろな可能性と夢がわきました。また、彼らとのふれあいの中で、自然と人々の美しい関わり合いについても語る事ができました。ツアーを通じ、また夢を抱く仲間たちができたことを大変うれしく思います。一般の参加者と多方面の関係者の多くの参加に大変感謝しております。皆さんもぜひ一度訪れてみてください。



フォスター市の水路沿いの高級住宅地

注：船橋市国際交流協会では、民間団体が行う姉妹・友好都市への派遣事業に対し、事業内容を審査の上、助成を行っております。

深めよう、地域の国際交流—アジアのティータイム

協会外国人会員4名が講師に

三咲公民館と三咲地区生涯学習コーディネーターの主催で国際理解講座『アジアのティータイム』が開かれました。「お茶を飲みながら地域在住の外国の方と交流を深めてみませんか」がテーマです。

2007年1月13日 中ネリーさん「フィリピンの文化について」、1月27日 金基英さん「韓国の文化について」、2月10日 高橋レダさん「インドネシアの文化について」、2月24日 王子敏美さん「中国の文化に



金基英さん

ついて」の話聞きながら、お国ぶり豊かな「お茶」を楽しむ2時間のイベントでした。講師の方々には船橋市国際交流協会会員です。

私が参加した1月27日、民族衣装を着けた金さんが語る韓国民話に耳を傾け、3種のお茶を喫しながら受講者40名の方々は「韓国文化」を堪能した様子でした。他の三日間も盛会だったようです。

広報委員 坂井



中ネリーさん



高橋レダさん



王子敏美さん

ズームアップ

船橋在住外国人の子どもたちの日本での生活を支援するため、「子ども日本語教室」を開講したボランティア組織「地球っ子プロジェクト」。

その代表 宮慶助さんに「子ども日本語教室」の活動を報告させていただきます。

「地球っ子プロジェクト」代表 宮慶助さん

昨年4月に開講した「子ども日本語教室」は現在約24名の子どもたちが元気に通って来ています。フィリピン・ブラジル・タイ・中国など、6歳から16歳までの子どもたちが在籍し、ボランティア12名で授業作りをしています。毎週土曜日の朝、眠そうな顔で現れた子どもたちは、まず出席簿にシールを貼って教室に入り、同じ位の年齢の4つのグループに分かれて勉強します。大所帯8名の中学生グループはレベルが多少違って、お互い助け合って楽しそうです。授業は、初めの1時間目は各グループに分かれて勉強、その後10分程度全員集まってミニゲームと休憩、またグループに分かれて勉強をします。なかには途中、全員でやる

ミニゲームを楽しみに来る子もいます。日本語の勉強のほかに季節の行事、ことわざ、昔話などの紹介も取り入れて、楽しくできるような工夫をしています。

「子ども日本語教室」は、日本語を母語としない子どもたちが学校の授業が分かるよう支援することはもちろんですが、学校生活をそして日本での生活と楽しく過ごせることを願うボランティア「地球っ子プロジェクト」により運営されています。受講、ボランティアに関する問い合わせは、

「地球っ子プロジェクト」代表 宮慶助 まで。

TEL&FAX 047-433-0487



教室風景



年末の年賀状づくり



国際交流のつどいに参加
ワールドスタンプラリーで言葉を教える

お知らせ

平成19年度会費を納入してください

協会の年会費は、毎年4月から翌年3月までの年度会費です。

法人・団体会員は一口1万円。個人会員は一口千円です。お近くの郵便局にて同封の払込取扱票をご利用の上、手続きください。

郵便局口座番号 00170-7-57755 船橋市国際交流協会

平成19年度総会のご案内

平成19年度船橋市国際交流協会総会は、下記の日程にて開催いたします。なお、会員の皆様には、後日、あらためて総会資料とともにご案内いたします。

また、19年度は設立20周年となることから、別途記念行事を計画中です。そのため、総会後の懇親会の開催は予定していません。

日時：5月9日（水）午後2時から

会場：中央公民館 講堂

ホストファミリー募集

船橋市市制70周年記念及び第24回全国都市緑化フェア開催に伴い、姉妹・友好都市である Hayward、西

安、オーデンセから船橋を訪問する文化団体のホームステイ先を募集します。

船橋滞在中は、アンデルセン公園でのフェア出演や学校交流、歓迎パーティーやホストファミリープログラムを計画しています。

草の根の国際交流活動として、ぜひ、体験してみてください。

日程：10月18日～22日（4泊5日）

受け入れ人数：一家庭2～3人

申込先：船橋市国際交流協会事務局

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

船橋市役所国際交流室内

あとがき

18年度最後の協会ニュースも盛りだくさんの内容で無事発行できた。19年度は国際交流協会設立20周年、そして船橋市市制70周年の節目。秋には「子どもたちの幸福な未来」をテーマに「花フェスタ」がアンデルセン公園を中心に開かれる。また、姉妹・友好都市からゲストを迎え、さらに国際交流にふさわしい1年になるだろうとワクワクしている。ぜひ、いろいろな催しに気軽に参加してみてください。
(K・T)

